

「ティーンズ・ソウル」主催のデモで安全保障関連法反対を訴える
参加者=21日午後、東京・渋谷

2/22
福井



戦争いらない 高校生らデモ

安保法反対、各地で

安全保障関連法に反対する高校生らが21日、仙台、東京、大阪など各地で一斉に声を上げた。「うちの未来に戦争いらへん」「武器を持たすな、希望を持たせろ」。プラカードを掲げ、ヒップホップ調のリズムに乗ってデモ行進。「選挙に行こう」「野党は共闘」とのアピールもあった。
東京のデモを主催したグループ「ティーンズ・ソウル」

によると、この日は15都府県で高校生らがデモや集会、街宣活動などをした。
東京・渋谷では約5千人（主催者発表、以下同）が「集団的自衛権はいらない」「賛成議員は落選させよう」と訴えた。都内の高校3年福田龍紀さん（18）は「周囲の目がだんだん変わり、興味を持つ人が増えているように感じる」と話した。

仙台市の繁華街では、時折小雨が降る中、約200人が参加。デモの先頭でマイクを握った高校1年の女子生徒（16）は原発再稼働や安保法成立を推し進めた安倍政権の姿勢に「みんな不満を持っている。私たちも主催者。学校でも一緒に声を上げる友達を増やしていきたい」と話した。
小学生の子ども2人と参加した宮城県岩沼市の主婦及川

さち子さん（42）は「高校生が声を上げるとは心強いし、希望が持てます」と語った。
大阪市北区で開かれた集会には約400人が参加。続くデモでは「武器を持たすな、希望を持たせろ」と呼び掛けた。金沢市から来たという高校1年の女子生徒（16）は「政治のことをリズムよく声に出せるのは新鮮で楽しかった」と声を弾ませた。